

砧公園

3月24日 (火) 晴れ

- ★ 新型コロナウイルスの感染拡大により、都立公園での飲食を伴う宴会を中止するように要請があったため、砧公園で花見の宴を行う予定であったが、計画を変更して“そぞろ歩きしながらの花見”となった。今回初参加の桑田制三さん（昭和41年政経卒、すでに太極拳と俳句クラブに参加）と久しぶりに安井夫妻が参加して総勢8名が集まった。
- ★ 井の頭線吉祥寺駅を13時36分に出発、渋谷駅で田園都市線に乗り換えて用賀駅に着いたのは14時16分。駅前から砧公園に向かって「いらかみち」という遊歩道が整備されている。いらかみちの黒っぽいタイルには百人一首の歌が1番から100番まで刻まれている。「この歌知ってる…」「これは和泉式部の歌だ…」などと言いながら歩いているうちに環八通りに着くとそこはもう砧公園の入口である。



和泉式部の和歌



和歌を読みながら歩く

- ★ 砧公園は広さ約40万㎡、広い芝生のファミリーパーク、バードサンクチュアリ、野球場、サッカー場、子供たちに人気の遊具が揃った「みんなのひろば」、世田谷美術館などの施設があり、またサクラ、ケヤキ、サワラ、クスノキ、ツツジ、サツキなどの林があり、多くの草花が咲いている。特に桜はソメイヨシノやヤマザクラなど930本が植えられていて、まさに満開であった。ここの桜は人工的に手を加えていないらしく、幹が10mほどの高さまで伸びてから四方に枝を伸ばし、やがて枝は地面すれすれまで伸びたあと再び上に向かって伸びている。上空から見れば桜の枝の広がりには20m～30mになると思われる。枝をかき分けて中に入れば、屋根も壁も桜の花に覆われた東屋に入ったようである。
- ★ 平日のためか花見客も少なく、広い園内をゆっくり歩きながら満開の桜を楽しんだ。ファミリーパークやみんなの広場では春休み中の子供達が元気に走り回っていた。冷たい風がやや強く吹くこともあったが、暖かい陽射しを背に受けて、コロナウイルス騒動が嘘のような春の午後であった。



満開の桜



大きく枝を上げた桜の木

★ 砦公園から馬事公苑、東京農大を経て小田急線の経堂駅へ行く予定であったが、風も強いし、時間も遅くなったので用賀駅に戻り、渋谷の「銀座ライオン」で食事をして解散した。



常連の志賀さんと新人の桑田さんから俳句を頂きました。

花冷えや 和歌刻みたる 遊歩道

春北風(はるならひ) グランド霞む 土煙 志賀 勉

桜背に 記念の写真 横一列

インスタ映え 顔に桜の 枝を寄せ

吹く風に はしゃぐ桜と 浮かれたり 桑田 青三

参加者 桑田制三、小島恕雄夫妻、志賀 勉、水野聰夫妻、安井義彰夫妻 以上 8 名

写真と文 小島恕雄